

## Ⅱ 研修の概要

### 1 研修主題 「自己の生き方を考え、主体的に学ぶ生徒の育成」

～連携型中高一貫教育の特色を活かして～

### 2 研修主題設定の理由

- (1) 学校の教育目標とのかかわり
  - ・ 道徳の時間はもちろんのこと、全教育活動において、お互いを認めあい、思いやる気持ちなど豊かな心の育成を図りたい。
  - ・ 自己の将来を見通すために、中高一貫教育をはじめとした地域人材を積極的に活用するとともに、少人数指導やTTなど、きめ細かい指導を行い、基礎・基本の定着を図り、確かな学力を身に付けさせたい。
- (2) 家庭・地域の実態や願いとのかかわり
  - ・ 「片中文化の日」や「地域ふれあい書き初め大会」などの学校行事には、村の文化諸団体を始めとした地域の方々が、積極的に参加・協力してくれる。
  - ・ 中高一貫教育の取組等により、連携高校への理解が深まり、連携高校へ進学する生徒の割合も高まるなど、進路への意識も変化が見られる。
  - ・ 1日公開参観日に毎回参加する保護者がいたり、学校への要望が多く寄せられたりするなど、教育に対する関心が高い家庭がある一方、思春期の生徒への指導が不足する家庭が見られるなど、家庭教育の差が大きい。保護者への啓発が必要である。
- (3) 生徒の実態とのかかわり
  - ・ 部活動や学校行事等、興味・関心の高いものに対しては、意欲的に取り組む生徒が多い。このような積極的な行動や意欲を普段の学校生活や学習等、気づきを大切にした指導を通して自己課題を解決する取組につなげたい。
  - ・ 家庭学習の習慣が身に付いていなかったり、家庭学習の量が不足している生徒がみられたりするので、定期テストなどの直前だけでなく、毎日自ら学習に取り組む習慣を身に付けさせたい。
  - ・ あいさつ運動、朝読書等の取組により、あいさつができたり落ち着いて生活できる生徒が多くなっている。他とのかかわりに関しては、周りの状況等考えなかったり配慮が足りなかったりするトラブルも見られる。道徳的実践力を高める必要がある。
  - ・ 将来の夢や職業に向けて努力している生徒がいる一方、目的意識や自らの意思表示ができない生徒も多い。体験的な学習を通して、自らの生き方を考えられるようにする必要がある。
- (4) 教職員の指導の在り方とのかかわり
  - ・ 道徳性検査等を活用した指導計画の見直し、道徳の時間・全教育活動を通しての道徳的実践力を身に付けさせる指導など、道徳教育の充実を図る必要がある。
  - ・ 連携型中高一貫教育の趣旨を全職員で確認し、指導計画や実践内容についての研修の場を増やし、総合的な学習の時間、学級活動の時間等の進路指導の在り方を明ら

かにする必要がある。

- ・生徒一人一人の基礎学力の定着を図るための指導の在り方について、一人一授業の校内研究授業・授業研究会も併せて行い、教科指導力の向上を図りたい。また、指導と評価の一体化を意識した、授業改善の見通しを持つ必要がある。

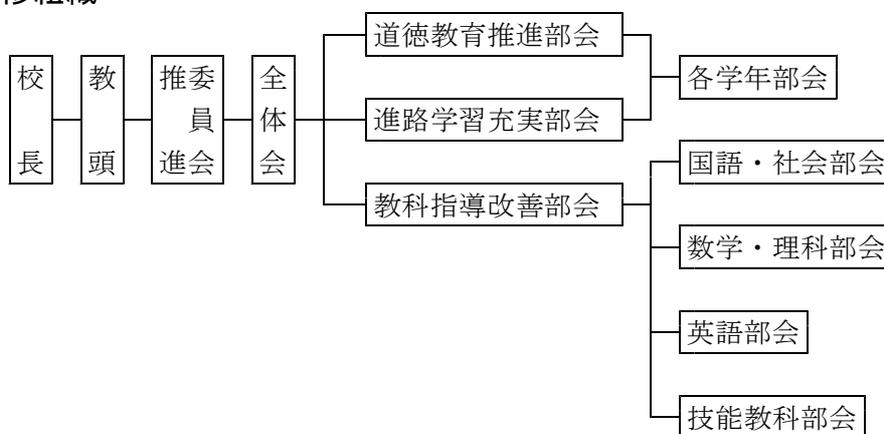
### 3 研修のねらい

連携型中高一貫教育の特色を活かした教育活動や地域人材の積極的活用を図ることで、自己の生き方を考え、主体的に学ぶ生徒の育成を目指して、各教科、道徳、進路学習等の在り方を、実践を通して明らかにしていく。

### 4 研修の内容

- ・各学年ごとに計画的な道徳の時間の授業実践とともに、日常的な道徳的実践力をめざし、豊かな心の育成と学校生活の向上につなげる。
- ・学級活動で12時間行う進路学習や総合的な学習の時間での生き方教育等、中高6年間を見通したものと結びつけ、進路カード等を用いて系統的に授業実践を行う。
- ・各種検査（NRT、パスカード、道徳性検査等）の分析を行い、その結果を生かした指導計画の改善等、中長期的な指導と評価の一体化を図る。また、評価項目による評価、それに伴う補足的・発展的指導など、一単位時間における指導と評価の一体化など授業改善の見通しを持ち、一人一授業の校内研究授業等で授業実践を行う。

### 5 研修組織



	構成員	研修推進上の役割や主な研修内容
推進委員会	○研修主任、教務主任、中高一貫主任、進路学習充実部会長、道徳教育推進部会長、教科指導改善部会長、各学年代表	研修計画立案、全体会に提案する内容の協議、研修の課題の焦点化等
全体会	全職員	研修内容の確認
道徳教育推進部会	○渡辺 坂本 福島 関谷	年間指導計画の見直しと計画的な実践、道徳性検査の分析

進路学習充実部会	○中森 佐藤 新井 阿部 星野 金子	中高6年間を見据えた系統的な実践 パスカードの分析
教科指導改善部会	○古田島 高橋 秋元 加藤 林	学力検査の分析、指導と評価の一体化の推進
学年部会	各学年所属職員	道徳・学級活動の授業改善の推進
国語・社会部会	○秋元 高橋 佐藤 加藤	各教科の授業改善の推進
数学・理科部会	○古田島 中森 金子 関谷	〃
英語部会	○渡辺 林 福島	〃
技能教科部会	○阿部 星野 坂本 新井	〃

## 6 研修の経過

授 研究授業・授業研究会 指 指導案検討会 講 講義

月/日	内 容	研修の視点(上段)・明らかになったこと(下段)
4.24	第1回全体会	・校内研修の今年度の方向性の検討
5.1	第2回全体会	・研修計画書の検討
5.8	第3回全体会 個を伸ばす指導事例	講 古田島教諭 ・生徒を数学好きにさせる授業の実践 ・指導形態の工夫、コース選択能力の育成、個を伸ばす机間指導、教材の開発蓄積、学習ルールの共有化と徹底などの視点から授業改善を行うことの有効性が理解できた。
5.29	第4回全体会	・授業改善策の策定について
6.5	第5回全体会	・指導主事訪問Aについて
6.15	3年数学 「式の計算」	授 古田島教諭 ・教材の構成が、主体的に学ぶ生徒を育てる上で有効に機能しているか。 ・目的が明確な授業構成は、生徒が集中でき達成感が生まれる。
6.19	第6回全体会	・指導主事訪問Aについて ・授業改善策について
6.30	1年道徳 「かけがえのない命」	授 関谷教諭 ・視聴覚資料を用いたことは、自己の生き方を考える上で有効であったか。 ・ねらいを達成するための資料の厳選、机間指導時に生徒の多様な意見を見つけての意図的な指名の大切さが理解できた。
〃	指導主事訪問A	授 全職員 ・授業改善の方策について ・指導と評価の一体化に関して、評価項目や評価後の補充と発展学習についての理解が深まった。 ・豊かな心を育てる中核となる道徳の時間の指導方法などについて、理解が深まった。
7.10	第7回全体会	・指導主事訪問Aの指導内容の確認 ・各部会からの報告と今後の活動予定について
8.28	第8回全体会	・生徒指導研修
9.25	第9回全体会	・指導主事訪問Bの指導案検討
9.25	3年道徳 「地雷について」	授 福島教諭 ・地雷についての具体的な資料を用いて世界平和について考えたことは、国際的視野に立ち、また自己の生き方について考えていく上で有効であったか。 ・主題とねらいを達成するための資料の用い方について、理解が深まった。

9. 25	2年技術 「生活に役立つ ものを作ろう！」	指 坂本教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒への支援について</li> <li>「十分満足」「おおむね満足」「努力を要する」生徒にそれぞれの支援を記述する。指導計画と本時の展開の整合性。</li> </ul>
10. 2	第10回全体会		<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修経過報告書の検討</li> <li>指導主事訪問Bの指導案検討</li> </ul>
〃	2年道徳 「敗北から学 ぶ」	指 渡辺教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねらいとする価値に近づくための資料の提示について</li> <li>同じ資料でも、使うポイントと教師の発問によって授業の流れが変わってくるのが理解できた。</li> </ul>
〃	2年技術 「生活に役立つ ものを作ろう！」	指 坂本教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材観と指導方針について</li> <li>授業の背景にある指導者の思いや願いをわかりやすく表現する。ねらいを明確にする。指導目標、評価規準、評価項目の確認。</li> </ul>
10. 4	3年選択数学 「2次方程式」	授 古田島教諭 金子教諭 遠山教諭 (尾瀬高校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通の発展課題を用いながら、支援を工夫することで、主体的に学ぶ生徒を育成できるか。</li> <li>練られた課題は生徒の主体的な学びを促す。同一の課題でも、多様な提示、支援、発展的探求があり、各コースの実態に対応できる。</li> </ul>
〃	3年選択英語	授 渡辺教諭 林 教諭 福島教諭 國定教諭 (尾瀬高校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校教諭の専門性を生かし、少人数制の授業や実践的コミュニケーションを育成する授業を行うことは、文法項目の定着や発表する力の育成に有効であったか。</li> <li>教員の思いが伝わる授業内容、展開になっていた。まだ改善をするべき点はあるが、一連の授業が継続してねらいに迫るものとなっている。</li> </ul>
10. 16	第11回全体会		<ul style="list-style-type: none"> <li>指導主事訪問Bの指導案検討</li> <li>片教研交流授業の指導案検討</li> </ul>
〃	2年道徳 「敗北から学 ぶ」	指 渡辺教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料からねらいにせまるための発問のあり方</li> <li>資料から主題を読み取らせて考えさせるためには、主発問と補助発問の関連性が大切である。</li> </ul>
〃	2年技術 「生活に役立つ ものを作ろう！」	指 坂本教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒のグループ編成と見本の活用方法</li> <li>同類の作品によるグループ編成と、進度別のグループ編成について、明確に記載する。</li> </ul>
〃	1年国語 「書写」	指 佐藤教諭 村書道協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業展開と評価項目について</li> <li>TT形式において、教師の動きと生徒の反応を詳細に記載する。</li> </ul>
〃	2年理科 「化学変化と原 子分子」	指 中森教諭 湯浅教諭 (尾瀬高校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業展開について</li> <li>展開の中におけるTTの有効的な活用方法について検討する。</li> </ul>
〃	3年社会 「消費と貯蓄」	指 秋元教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業展開の中心の絞り込み</li> <li>扱う内容の中で、生徒の実態に応じて中心になる内容を絞り込み、必要な資料をそろえる。</li> </ul>
10. 24	2年道徳 「敗北から学 ぶ」	授 渡辺教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロールプレイにより、価値項目にせまる。</li> <li>「考えさせたい価値」と「資料から考えられる価値」の整合性のあり方。</li> </ul>
〃	2年技術 「生活に役立つ ものを作ろう！」	授 坂本教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの活動を通して、自分の課題を発見する。</li> <li>課題の発見と、工夫箇所への対処法という評価項目の設定を吟味する必要がある。</li> </ul>
10. 25	3年国語 「おくのほそ 道」	授 高橋教諭 箕輪教諭 (尾瀬高校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校教諭とのTTによる、読む力の向上。</li> <li>「読む力」のとらえ方の吟味、TTのよさを生かした評価の方法（順序や流れ）のあり方。</li> </ul>

10.30	1年国語 「書写」	授 佐藤教諭 村書道協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を生かしたTTのあり方。</li> <li>・ワークシートを書道協会との事前打ち合わせに用いることで、指導目標の共通理解を短時間で言うことができた。</li> </ul>
〃	2年理科 「化学変化と原子分子」	授 中森教諭 湯浅教諭 (尾瀬高校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TTを生かした、課題解決学習への支援のあり方。</li> <li>・高校教師の専門性をどう生かすかや、観察・実験における習熟度別の班編成のあり方について検討した。</li> </ul>
〃	3年社会 「消費と貯蓄」	授 秋元教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーション作業による思考力の高まり。</li> <li>・生徒の実生活に基づいて、評価項目の設定を柔軟に変えていく必要がある。</li> </ul>
11.27	第12回全体会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画について</li> <li>・各部会ごとの班別協議</li> </ul>
12.4	第13回全体会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会の報告</li> <li>・「校内研修のあゆみ」について</li> <li>・年間指導計画の見直しについて</li> </ul>
1.29	第14回全体会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「片品の教育」について</li> <li>・各部会ごとの班別協議</li> </ul>
2.2	1年音楽 「日本の音楽に親しもう」	授 星野教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏するために、数字譜の活用（箏の胴に弦の名前を付けておくこと）は有効であったか。</li> <li>・授業における学習習慣の重要性、生徒にいかにして和楽器に親しませるか。</li> </ul>
2.5	第15回全体会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会の報告</li> <li>・CRTの分析</li> </ul>
2.21	1年社会 「産業の発達と幕府政治の動き」	授 加藤教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目と授業の視点の一貫性について。</li> <li>・評価項目を明確にすることで、ねらいを達成するための学習活動のあり方、そのための手だての方向性が決まってくる。</li> </ul>
2.26	第16回全体会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の研修の方向性についての検討</li> </ul>
3.9	1年保健体育 「思春期における体の変化」	授 阿部教諭 新井教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性教育における指導形態の在り方</li> <li>・保健体育と道徳、学活の3領域の連携の必要性が明らかになった。</li> </ul>
3.19	第17回全体会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の研修の方向性についての検討</li> </ul>

#### ※その他の研修

月日	区分	講師	内容（上段）・成果（下段）
8.28	生徒指導研修	生徒指導主事 阿部明磨教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内生徒指導体制の構築と校内連携</li> <li>・生徒に対する指導の仕方の情報交換ができ、共通理解が深まった。</li> </ul>
9.25	性教育研修	新井綾子養護教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性に関する指導の在り方・生徒の現状 (本校のエイズを含めた性に関する年間指導計画の確認を含めて)</li> <li>・生徒の実態をふまえた性教育の3年間の見通しを持つことができた。</li> </ul>